

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-133	23-094	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳）		
<p>The associations of parental smoking, quitting and habitus with teenager e-cigarette, smoking, alcohol and other drug use in GUI Cohort '98 アイルランドにおける 10 代の若者の喫煙、飲酒、薬物使用と親の喫煙等との関連</p>		
執筆者		
Sunday S, Clancy L, Hanafin J.		
掲載誌		
Sci Rep. 2023 Nov 16;13(1):20105. doi: 10.1038/s41598-023-47061-4.		
キーワード		PMID
親、保護者、禁煙、電子タバコ、薬物使用		37973812
要 旨		
<p>目的：10 代の若者の電子タバコ（e-cigarette）、飲酒、紙巻きタバコ喫煙、薬物使用と親の喫煙、禁煙との関連を分析し、社会的再生産のメカニズムとしての親の喫煙について検討した。</p>		
<p>方法：アイルランドにおける Cohort'98 データベースを用いた。対象者は 6039 人である。9-13 歳時点の調査と 17-18 歳時点の調査を実施している。17-18 歳時点の喫煙・薬物使用について GEE 法を用いて分析した。</p>		
<p>結果：親の喫煙は、10 代の電子タバコ使用（調整オッズ比 2.13）、飲酒経験（1.92）、現在飲酒（1.88）、その他の薬物使用（1.90）、喫煙経験（2.10）、現在喫煙（1.91）のリスクを上昇させた。保護者の禁煙は、10 代の現在喫煙（調整オッズ比 0.57）、電子タバコ使用（0.65）、薬物使用（0.57）のリスクを低下させた。保護者の喫煙行動は、9 歳時より 13 歳時のほうが関連が強かった。</p>		
<p>結論：予防的な介入は保護者とその子供の両方にすべきと考えられた。</p>		